

2022年5月29日 火をもって答える神

1 祈りの祭壇を建て直す

(マラキ4:5~6) 見よ。わたしは、主の大いなる恐ろしい日が来る前に、預言者エリヤをあなたがたに遣わす。彼は、父の心を子に向けさせ、子の心をその父に向けさせる。

(ルカ1:17) 彼こそ、エリヤの霊と力で主の前ぶれをし、父たちの心を子どもたちに向けさせ、逆らう者を義人の心に立ち戻らせ、こうして、整えられた民を主のために用意するのです。

(1列王記18:21~24) エリヤは皆の前に進み出て言った。「あなたがたはいつまでどっちつかずによろめていているのか。…自分たちの神の名を呼べ。私は主の名を呼ぼう。そのとき、火をもって答える神、その方が神である。

(1列王記18:30) それから、彼はこわれていた主の祭壇を建て直した。

(2歴代誌16:9) 主はその御目をもって、あまねく全地を見渡し、その心が完全に神のものとされている人に、御力をあらわしてくださるのです。

(1列王記18:37) 「主よ。私に教えてください。この民が、あなたこそ、主よ、神であり、あなたが彼らの心を翻してくださることを知るようにはしてください。」すると、主の火が降って来て、全焼のいけにえと、たきぎと、石と、ちりとを焼き尽くし、みぞの水もなめ尽くしてしまった。民はみな、これを見て、ひれ伏し、「主こそ神です。主こそ神です」と言った。

2 敵の働きに屈しないために

① 脅しと恐れ

(1列王記19:2~3) イゼベルは使者をエリヤのところに遣わして言った。「もし私が、あすの今ごろまでに、あなたの命をあの人たちのひとりの命のようにしなかったなら、神々がこの私を幾重にも罰せられるように。」彼は恐れて立ち、自分の命を救うため立ち去った。

② 死にたい気持ちや鬱

(1列王記19:4) 彼は、えにしだの木の陰に座り、自分の死を願って言った。「主よ。もう十分です。私の命を取ってください。私は先祖たちに優っていませんから。」

③ 孤独、一人ぼっちと思わせる

(1列王記19:14) エリヤは答えた。「私は万軍の神、主に、熱心に仕えました。…ただ私だけが残りましたが、彼らは私のいのちを取ろうとねらっています。

3 神の処方箋

① マナで養われて安息する

(1列王記19:5~6) ひとりのみ使いが彼に触れて、「起きて、食べなさい」と言った。彼は見た。すると、彼の頭のところに、焼け石で焼いたパン菓子一つと、水の入ったつぼがあった。彼はそれを食べ、そして飲んで、また横になった。

② あなたは一人ではない

(1列王記19:16~18) ニムシの子エフーに油をそそいで、イスラエルの王とせよ。また、アベル・メホラの出のシャファテの子エリシャに油をそそいで、あなたに代わる預言者とせよ。…しかし、わたしはイスラエルの中に七千人を残しておく。

③ 与えられている権威を用いる

(黙示録2:26) 勝利を得る者、また最後までわたしのわざを守る者には、諸国の民を支配する権威を与えよう。

(使徒4:29~33) 「主よ。今彼らの脅かしをご覧になり、あなたのしもべたちに御言葉を大胆に語らせて下さい。御手を伸ばして癒しを行なわせ、あなたの聖なるしもべイエスの名によって、しるしと不思議なわざを行なわせてください。」彼らがこう祈ると、集まっていた場所が震い動き、一同は聖霊に満たされ、神の言葉を大胆に語りだした。信じた人の群れは、心と意思を一つにし、誰一人その持ち物を自分のものと言わず、すべてを共有していた。使徒たちは、主イエスの復活を非常に力強く証し、大きな恵みとそのすべての者の上にあった。